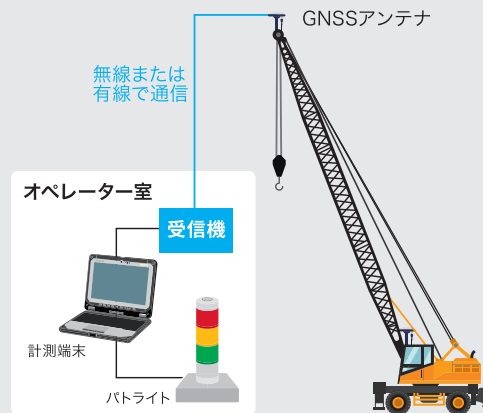
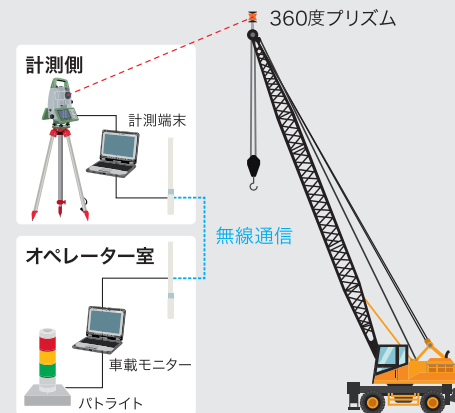


構成図

GNSS



トータルステーション



使用機器

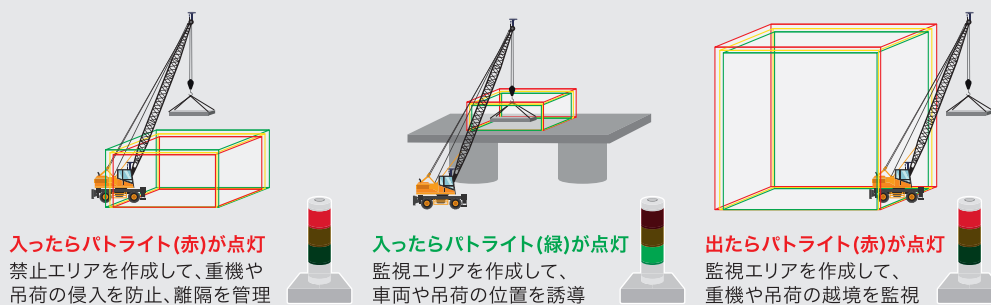
GNSS



トータルステーション



エリア作成例



オプション

どこでも表示灯

オプションの「どこでも表示灯」をお申し込みいただくことで、オペレーター室以外でも、複数のパトライトをご利用いただけます。
警報設定はオペレーター室内のPCと連動し、遠隔地でもリアルタイム※に点灯いたします。
無線通信で簡単に増設することが可能です。

※電波環境により、遅延する可能性があります。

自動停止用信号出力機能

オプションとして自動停止装置に信号を出力することが出来ます。

※自動停止装置は取り扱っておりません。
※重機への接続は行っておりません。
※停止信号出力日時は記録されますが、機械の停止動作は保証できません。



ホームページ



この商品の使用に際しては取扱説明書を必ずお読みください。
・内容は予告なしに変更する場合がありますので詳細は最寄りの営業所にお問合せください。
・商品の外観・仕様は年式や型式により多少異なる場合があります。
・当営業所に在庫が無い場合は、有料にて他営業所から取り寄せます。

クレジットカード・電子マネーの利用拡大中。
決済可能ブランドは随時更新中です⇒

商品問合せNo S-2825 P250421-000h

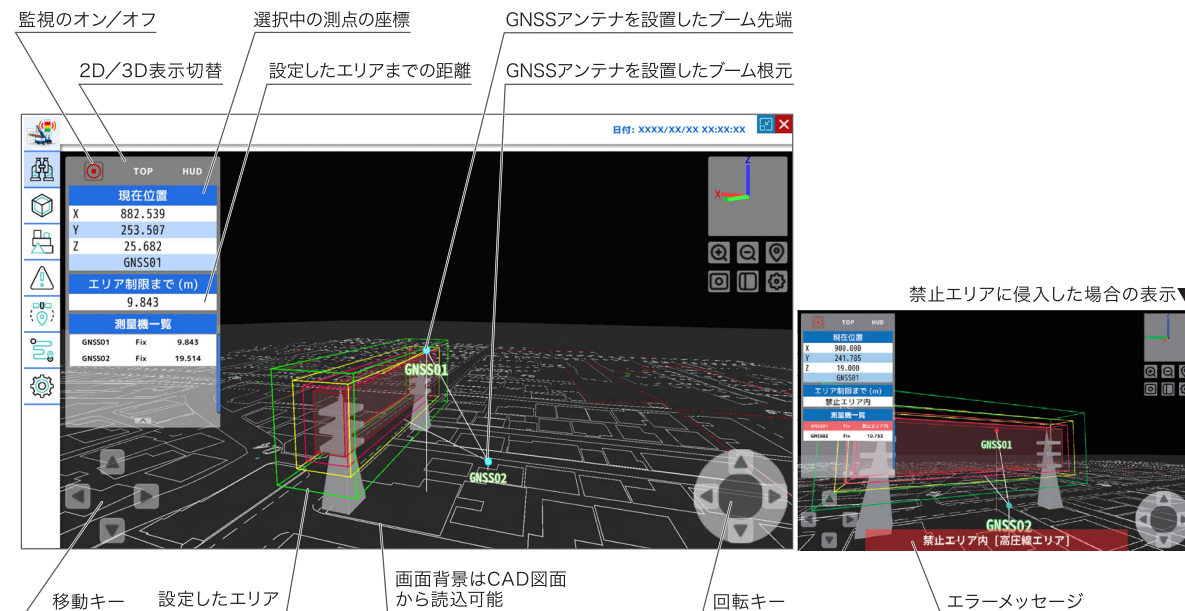


施工領域3D モニタリングシステム 3Dバリア®

GNSSを利用して、クレーンのブーム先端や吊荷の位置情報をリアルタイムに表示し、管理エリアとの離隔安全管理を行うシステムです。

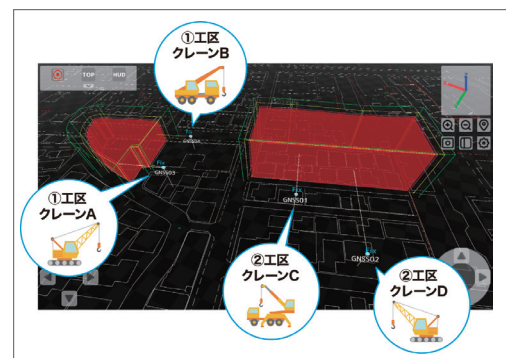
作業可能または禁止エリアを作成し、設定した禁止エリアへ侵入あるいは作業エリアから外れた場合は、パトライトでお知らせします。

計測画面

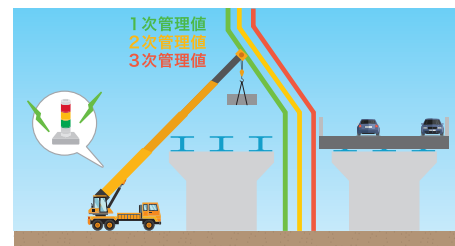


特徴

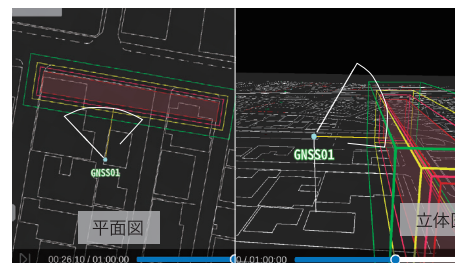
- 禁止エリア、監視エリアを自由に複数作成できる(座標入力作成/図面上クリック作成)
- GNSSアンテナ周辺にエリアを作ることで重機同士の接触管理も可能
- GNSSアンテナをブームの先端と根元に取り付けることで、ブーム全体の禁止エリアへの侵入などを検知
- ネットワーク接続で他重機が設定したエリアを一括表示
- 仮想測点追加機能(設置したGNSSアンテナから仮想測点を算出、座標入力測点など)
- 警報機能(3段階のパトライト、音声警報、メール警報)
- クレーンの稼働を確認できる履歴機能
- スクリーンショット機能
- タッチパネルで操作できる回転・矢印キー



▲他重機が設定したエリアを一括表示



▲3次管理値まで指定が可能

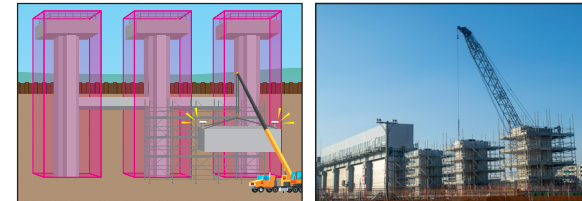


▲クレーンの稼働履歴

活用できる管理項目例

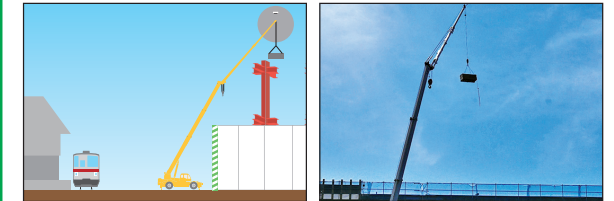
吊荷の旋回管理

橋梁架設工事において、クレーン旋回時に吊荷が、隣接する既設橋梁や構造物、他重機と衝突しないように監視します。



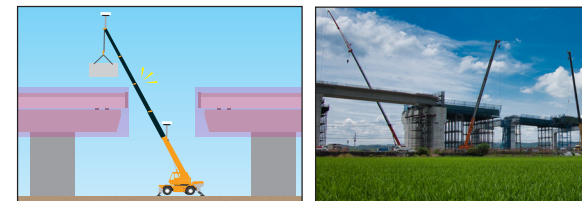
クレーン先端の位置確認

構造物や距離の関係でオペレーター室からクレーンの先端が視認できない場合も、モニター画面に位置と高さを表示することで、安全で確実な施工に貢献します。



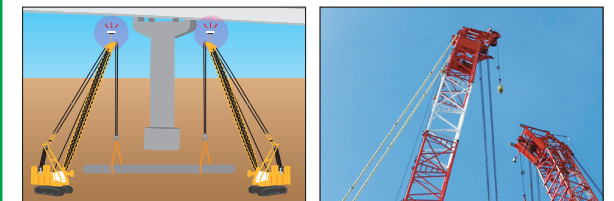
ブーム全体の接触防止

ブーム全体を警戒対象として設定することで、近接構造物へ近づいた場合にパトライトで危険をお知らせします。



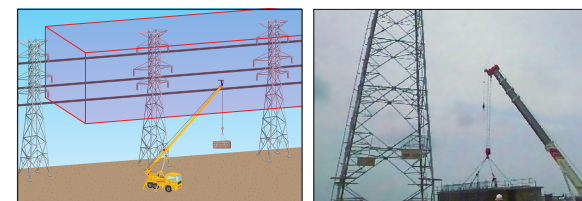
重機同士の離隔管理

複数のクレーンで構造物を移動させる際や近接で作業する際に、衝突を防ぐため重機同士の位置を表示して、離隔管理を行います。



高圧線との離隔管理

高圧線が近接する施工現場において、クレーンとの離隔管理を行います。高圧線のエリアを登録し、侵入した場合はパトライトでお知らせいたします。



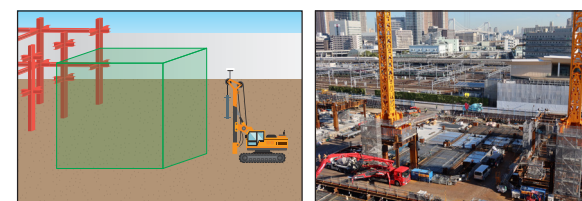
航空制限の管理

航空制限値のデータをシステムに登録し、空港やヘリポート周辺での工事において、飛行領域を侵さないように高さを管理いたします。



重機や吊荷の位置誘導

目標位置の座標を監視エリアに設定することで、対象に近づくパトライトが赤→黄→緑とお知らせする事が可能です。



既設橋梁下での施工

既設橋梁鉄道(営業線)の下部でクレーン作業をする際に、ブームの高さを管理します。衛星からの電波が入らない場所では、トータルステーションの自動追尾機能と360度プリズムを使用します。

